



文武両輪

～学習も行事も部活動も～

令和5年3月24日

【文責】校長 蔦川 誠

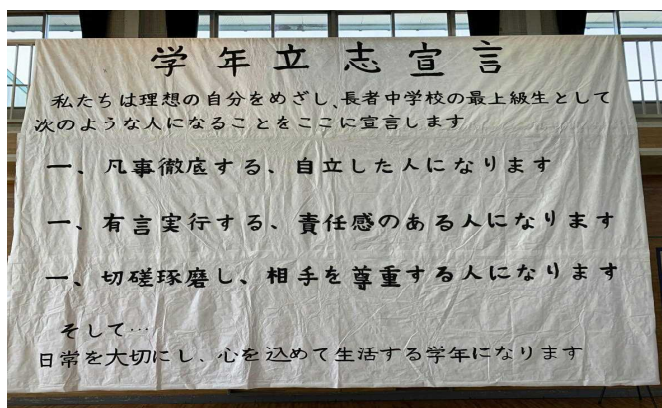
本気で変わる～凡事徹底・有言実行・切磋琢磨～

3月22日(水)、2学年が保護者を招いて、立志式を開催しました。

式の中では、一人一人の個人宣言の発表がありました。それから2年生全員が「一、凡事徹底する、自立した人になります 一、有言実行する、責任感のある人になります 一、切磋琢磨し、相手を尊重する人になります」という学年立志宣言を声高らかに唱和しました。

その後、代表の榊さんと藤井さんの作文発表があり、保護者からのメッセージ紹介、生徒代表の感謝の言葉、学年群読、記念合唱と続きました。保護者代表の2学年PTA委員長の菅原様からの激励の言葉をいただいた後、校長の話があり、最後に校歌を斉唱して式を終えました。

式開始前の男塾の記念の舞も含め、式の際の姿勢や態度及び宣言の内容など、この1年間の大きな成長をしっかりと感じさせてくれる、立派な立志式でした。



以下に、榊さんと藤井さんの作文を紹介します。

2年1組 榊 麗生

私は将来、静かな暮らしがしたいです。人から注目されるよりも、裏で活躍する方が自分らしくてよいと考えてました。普段、私たちが目にしているのは、表舞台に立っている人たちです。評価されやすいのも表舞台の人たちです。しかし、裏の仕事や支えがあってこそその活躍だと思えるので、裏の仕事がもっと評価されればよいのと思います。こうしたことから、将来、私は研究職に就きたいと思いました。薬や菌など何を研究したいかは未定ですが、後悔しないように真剣に考えているところです。大人になっていくにつれて、私は何事も自分でやっていける人になりたいです。ただ、興味のないものや嫌いなことは正直やりたくありません。それは他の人も同じだと思いますが、幼い考えは捨てて、我慢することも覚えて生きていきたいです。自分のことは自分でできるようになったとしても、人との関わりは必ずあり、他の人の助けを借りなければならない場面はあります。世の中には様々な人がいるので、中には悪い人もいます。そんな人たちにあまり影響されないようにすることも大切です。自分が望む大人になれるように、3年生では我慢を身に付けて周りをよく見て自分から行動できるようになりたいです。これからは、最高学年になるということをしつかりと意識して、成長していきたいです。

2年2組 藤井 廉翔

僕は今、建築士になるという夢があります。小学校4年生の時に、自宅の隣に新しい家が建ち、その工程を見ていました。それを見ていて、僕も立派な家を立てたいと思い、建築士という職業に興味をもちました。立派な建築士になるために、自分自身を見つめ直し、長所と短所を考えてみました。長所は2つあります。1つ目は、休まずに登校して元気に過ごしていることです。また、課題にも丁寧に取り組むよう毎日頑張っています。2つ目は、仲間や周りの人を大切にしようという心がけていることです。普段から、相手の心を傷つけないよう発言に気を付けています。一方で、短所は集中力がかけてしまう時があることです。授業でも先生の説明を聞き逃してしまい、宿題も忘れてしまうこともあります。また、宿題などやらなければならないことをつい後回しにしてしまうこともあります。これらの短所は、生活の中でメリハリをつけることで改善すると思います。これからはメリハリをつけることを意識しながら、聞き逃しや忘れ物を減らせるよう頑張っていきます。自分の将来の夢に一步步近づけるように、自分の個人宣言である「稚心を捨て、目標に向かって挑戦し続ける人」を目指し、日々努力していきます。そして、将来は立派な建築士になります。

